

向日市備蓄計画

平成30年4月

向日市

目 次

1	計画の概要	1
(1)	計画の位置づけ	1
(2)	基本的な考え方	1
2	計画策定の基本	2
(1)	被害想定	2
(2)	備蓄目標	2
(3)	備蓄品目	3
3	備蓄物資整備計画	4
(1)	個別対応が必要となる基準	4
(2)	食料・飲料水	4
(3)	生活必需品	5
(4)	資器(機)材	5
(5)	配置計画	7
4	備蓄方法について	8
5	流通在庫備蓄	9
6	救援物資	10
7	家庭内備蓄の推進	11
8	備蓄物資の購入及び活用計画	12

(参考) 拠点施設及び主要避難所

1 計画の概要

(1) 計画の位置づけ

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災では、地震の規模がマグニチュード 9.0 と日本での観測史上最大となり、この震災による被害は、死者、行方不明者約 22,000 人、建物の全壊・半壊は 400,000 万戸以上で、広範囲にわたり甚大な被害をもたらしました。

また、平成 28 年 4 月 14 日、16 日の 2 度にわたり震度 7 の地震に見舞われた熊本地震では、死者 255 名、建物の全壊・半壊は 43,000 戸以上となりました。

いずれの地震においても、各種ライフラインの寸断や、道路、鉄道などの都市基盤施設に大きな損害を与えました。

こうした甚大な被害をもたらす災害は、すべての自治体などの防災関係機関に大きな脅威となり、公共施設の耐震化や避難所の整備、食料、飲料水、資器（機）材の備蓄等、災害対策に大きな影響を与えました。

本市においても、市域に大規模な災害が発生した場合、多数の避難者が予想されることから、向日市地域防災計画に基づき「向日市備蓄計画」を策定し、食料、飲料水、生活必需品、資器（機）材等の物資を備蓄するとともに、民間企業等との物資の供給に関する協定及び府外他都市との相互援助協定等により、生活物資の総合的な確保体制を確立するものとします。

(2) 基本的な考え方

本計画は、自助（自分の命・財産は自分で守る）、共助（隣近所での協力）、公助（市が進める防災対策）の考えを基に、市民の日頃からの「家庭内備蓄」を前提とし、企業等とあらかじめ協定を締結し必要な物資を調達する「流通在庫備蓄」、本市及び京都府の共同による「公的備蓄」など、市民、企業、行政が一体となり災害時の食料等の確保に努めるものとします。

なお、本計画は、今後 5 年毎に検討を加えるとともに、被害想定の見直しや新たな課題が生じたときなど、時勢の変化に合わせ必要に応じて見直しを行うものとします。

2 計画策定の基本

(1) 被害想定

京都府の「地震被害想定調査結果（2008）」では、本市に影響を及ぼす地震には、海溝型地震と内陸部の直下型地震が想定され、海溝部で発生する地震は、内陸直下型地震と比較して、その被害は比較的小さいものに止まるものとされます。

一方、内陸直下型地震では、マグニチュード7以上の地震規模を有することが予想される活断層が存在することから、本計画の想定は、最も影響を受ける「有馬－高槻断層」を震源とする内陸直下型地震とします。

【京都府地震被害想定調査結果（2008）】

人的被害	災害想定	有馬－高槻断層
	最大予測震度	6強
	死者数	260人
	負傷者数	1,860人
	重傷者数	270人
	要救助者数	1,180人
	短期避難者数	22,333人
	全壊・焼失による最大避難者数	9,041人
建物被害	全壊	3,730棟
	半壊・一部半壊	5,440棟
	焼失建物	320棟

(2) 備蓄目標

公的備蓄は自助、共助による物資確保を補完するものであることから、京都府の「地震被害想定調査結果（2008）」を踏まえて、家屋の全壊・焼失により家庭内備蓄が活用できなくなった避難者9,041人を対象とし、他地域からの支援物資又は流通在庫備蓄での調達が困難な、発災後24時間、2食を目安に備蓄目標を設定します。

なお、京都府は生命・健康維持の観点から重点備蓄品目を、府、市町村が共同で備蓄することとしていることから、2食のうち1食については京都府備蓄を活用します。

最も避難者が多く想定される地震	有馬－高槻断層
全壊・焼失による最大避難者数	9,041人
備蓄の基準	1食
備蓄数量	9,100食

(3) 備蓄品目

備蓄品目については、生命・健康維持の観点から、食料、飲料水、毛布、簡易トイレ、おむつ、衛生用品を重点備蓄品目とし、重点備蓄品目以外の生活物資等については、民間企業等との防災協定を活用した流通在庫備蓄や他自治体との相互援助協定により確保に努めます。

① 食料・飲料水

品 目	備 考
白飯(アルファ化米等)	長期保存(5年)が可能で、アレルギー特定原材料等27品目を含まないもの。
白粥(アルファ化米等)	長期保存(5年)が可能で、アレルギー特定原材料等27品目を含まないもの。
粉ミルク	乳幼児用。
保存水	飲料用として長期保存が可能なペットボトル入りの飲料水。
保存パン	補助食料(調理を必要としないもの)。
ビスケット	
クラッカー	

② 生活必需品

品 目			
ア	毛布	イ	紙おむつ(乳幼児用)
ウ	紙おむつ(大人用)	エ	哺乳瓶(使い捨て)
オ	衛生用品		

③ 資器(機)材

品 目			
ア	炊事器具セット	イ	食器セット
ウ	卓上コンロ	エ	カセットボンベ
オ	かまどベンチ	カ	マンホールトイレ
キ	仮設トイレ	ク	簡易トイレ
ケ	オストメイト用トイレ	コ	収集袋・凝固剤
サ	トイレットペーパー	シ	トイレ用プライベートハウス
ス	ワンタッチパーテーション	セ	懐中電灯
ソ	簡易ベッド	タ	簡易テント
チ	ラジオ	ツ	赤外線ヒーター
テ	発電機	ト	投光器
ナ	投光器用スタンド	ニ	救助工具セット
ヌ	脚立	ネ	トランジスタメガホン
ノ	折畳式リアカー	ハ	コードリール
ヒ	簡易担架	フ	ガソリン携行缶
ヘ	ガソリン	ホ	防水シート

3 備蓄物資整備計画

(1) 個別対応が必要となる基準

年齢区分	割合	適用
3歳から74歳まで	84.8%	白飯(アルファ化米等)
1歳、2歳及び75歳以上	14.3%	白粥(アルファ化米等)
0歳	0.9%	粉ミルク
0歳から3歳	3.7%	乳幼児用紙おむつ
要介護度認定基準における要介護3以上	1.5%	大人用紙おむつ
10歳から55歳女性	27.7%	衛生用品

※割合は、向日市統計書(平成29年版)に基づき算定。

(2) 食料・飲料水

品目	計算	数量
白飯 (アルファ化米等)	【対象】全壊・焼失による最大避難者数の84.8% 【計画数量】 $9,041 \text{ 人} \times 84.8\% \div 7,667 \text{ 食}$	7,700食
白粥 (アルファ化米等)	【対象】全壊・焼失による最大避難者数の14.3% 【計画数量】 $9,041 \text{ 人} \times 14.3\% \div 1,293 \text{ 食}$	1,300食
粉ミルク	【対象】全壊・焼失による最大避難者数の0.9% 【基準】1人1食200mlとして5食/日1,000ml 【計画数量】 $9,041 \text{ 人} \times 0.9\% \times 5 \text{ 食} \div 410 \text{ 食}$	410食
保存水	【対象】全壊・焼失による最大避難者全員 【基準】3ℓ/日(総務省消防庁が目安とする量) 【計画数量】(京都府備蓄分を除く) $9,041 \text{ 人} \times 3\ell/\text{日} - 4,520.5 \text{ (京都府備蓄分)} = 22,602.5\ell$	22,680ℓ
保存パン	【対象】全壊・焼失による最大避難者数の99.1% 【基準】補助食料として1/2食分 【計画数量】 $9,041 \text{ 人} \times 99.1\% \times 1/2 \text{ 食} \div 4,480 \text{ 食}$ 保存パン : 2,240食(50%) ビスケット : 1,120食(25%) クラッカー : 1,120食(25%)	4,480食
ビスケット		
クラッカー		

(3) 生活必需品

品目	計算	数量
毛布	【対象】全壊・焼失による避難者全員 【基準】1枚/人 【計画数量】 $9,041 \text{ 人} \times 1 \text{ 枚} \times 1/2 \div 4,521 \text{ 枚}$	4,530 枚
紙おむつ (乳幼児用)	【対象】全壊・焼失による避難者のうち乳幼児 【基準】8枚/人 【計画数量】 $9,041 \times 3.7\% \times 8 \text{ 枚/日} \times 1/2 \div 1,338 \text{ 枚}$	1,340 枚
紙おむつ (大人用)	【対象】全壊・焼失による避難者のうち要介護3以上 【基準】6枚/人 【計画数量】 $9,041 \times 1.5\% \times 6 \text{ 枚/日} \times 1/2 \div 407 \text{ 枚}$	410 枚
哺乳瓶 (使い捨て)	【対象】全壊・焼失による避難者のうち0歳児 【基準】5本/人 【計画数量】 $9,041 \times 0.9\% \times 5 \text{ 本} \div 407 \text{ 本}$	410 本
衛生用品	【対象】全壊・焼失による避難者のうち10歳から55歳の女性 【基準】1/4(4週に1回)に対し8枚/人 【計画数量】 $9,041 \times 27.7\% \div 4 \times 8 \text{ 枚/日} \times 1/2 \div 2,504 \text{ 枚}$	2,510 枚

(4) 資器(機)材

品目				
炊事	炊事器具セット	主要避難所 10箇所	各1台	10台
	食器セット(100人/セット)	主要避難所 10箇所	各10セット	122セット
		南部・北部防災拠点	各10セット	
		市役所	2セット	
	卓上コンロ	主要避難所 10箇所	各2台	24台
	南部・北部防災拠点	各2台		
カセットボンベ	主要避難所 10箇所	各80本	900本	
	南部・北部防災拠点	各50本		
かまどベンチ	寺田東公園	3基	19基	
	西向日公園	3基		
	市民ふれあい広場	7基		
	勝山公園	1基		
	鶏冠井かしの木公園	1基		
	上植野城公園	2基		
	第2向陽小学校	1基		
	市役所	1基		

ト イ レ	マンホールトイレ	市民体育館 南部防災拠点	8台 2台	10台
	仮設トイレ	各小学校(洋2・和2) 各中学校(洋2・和1)	各4台 各3台	33台
	簡易トイレ	各小中学校 市民体育館 南部・北部防災拠点 市役所	各17台 112台 各40台 17台	362台
	オストメイト用トイレ	各小学校	各1台	6台
	収集袋・凝固剤	主要避難所10箇所 南部・北部防災拠点 市役所	各1,000袋 各2,000袋 350袋	14,350袋
	トイレットペーパー	主要避難所10箇所 南部・北部防災拠点 市役所	各15個 各20個 10個	200個
	トイレ用プライベートハウス	主要避難所10箇所 南部・北部防災拠点	各10台 各3台	106台
そ の 他	ワンタッチパーテーション	主要避難所10箇所 南部・北部防災拠点 市役所	各4台 各4台 1台	49台
	懐中電灯	主要避難所10箇所 南部・北部防災拠点 市役所	各2個 各5個 10個	40台
	簡易ベッド	主要避難所10箇所 南部・北部防災拠点	各2台 各4台	28台
	簡易テント	主要避難所10箇所 南部・北部防災拠点 市役所	各2台 各3台 1台	27台
	ラジオ	各小学校	各1台	6台
	赤外線ヒーター	主要避難所10箇所 南部・北部防災拠点 市役所	各2台 各3台 2台	28台
	発電機	主要避難所10箇所 南部・北部防災拠点 市役所	各2台 各8台 7台	43台
	投光器	主要避難所10箇所 南部・北部防災拠点 市役所	各5台 各20台 24台	114台
	投光器用スタンド	主要避難所10箇所 南部・北部防災拠点 市役所	各3台 各10台 16台	66台
救助工具セット	主要避難所10箇所 南部・北部防災拠点 市役所	各2台 各5台 3台	33台	

	脚立	主要避難所 10 箇所 南部・北部防災拠点 市役所	各 2 台 各 5 台 6 台	36 台
	トランジスタメガホン	主要避難所 10 箇所 南部・北部防災拠点 市役所	各 3 台 各 4 台 4 台	42 台
	折畳式リアカー	主要避難所 10 箇所 南部・北部防災拠点 市役所	各 2 台 各 5 台 5 台	35 台
	コードリール	主要避難所 10 箇所 南部・北部防災拠点 市役所	各 5 台 各 10 台 5 台	75 台
	簡易担架	主要避難所 10 箇所 南部・北部防災拠点 市役所	各 1 台 各 4 台 3 台	21 台
	ガソリン携行缶	主要避難所 10 箇所 南部・北部防災拠点 市役所	各 3 個 各 3 個 2 個	38 個
	ガソリン(1ℓ/缶)	主要避難所 10 箇所 南部・北部防災拠点 市役所	各 20ℓ 各 30ℓ 20ℓ	280ℓ
	防水シート	主要避難所 10 箇所 南部・北部防災拠点 市役所	各 10 枚 各 40 枚 13 枚	193 枚

※ 主要避難所（小中学校体育館及び市民体育館の 10 箇所）

(5) 配置計画

		市役所	北部拠点	南部拠点	市民体育館	向陽小学校	第2向陽小学校	第3向陽小学校	第4向陽小学校	第5向陽小学校	第6向陽小学校	勝山中学校	西ノ岡中学校	寺戸中学校	合計
食料・飲料水	白飯(アルファ化米等)(食)	390	750	750	2,300	390	390	390	390	390	390	390	390	390	7,700
	白粥(アルファ化米等)(食)	70	120	120	360	70	70	70	70	70	70	70	70	70	1,300
	粉ミルク(食)	20	40	40	130	20	20	20	20	20	20	20	20	20	410
	保存水(ℓ)	1,140	2,240	2,240	6,800	1,140	1,140	1,140	1,140	1,140	1,140	1,140	1,140	1,140	22,680
	保存パン(食)	110	230	230	680	110	110	110	110	110	110	110	110	110	2,240
	ビスケット(食)	55	115	115	340	55	55	55	55	55	55	55	55	55	1,120
	クラッカー(食)	55	115	115	340	55	55	55	55	55	55	55	55	55	1,120
生活必需品	毛布(枚)	230	450	450	1,330	230	230	230	230	230	230	230	230	230	4,530
	紙おむつ(乳幼児用)(枚)	75	120	120	350	75	75	75	75	75	75	75	75	75	1,340
	紙おむつ(大人用)(枚)	20	40	40	130	20	20	20	20	20	20	20	20	20	410
	哺乳瓶(本)	20	40	40	130	20	20	20	20	20	20	20	20	20	410
	衛生用品(枚)	125	250	250	760	125	125	125	125	125	125	125	125	125	2,510

4 備蓄方法について

大規模地震発生時には、職員自身の被災や道路の寸断等の要因により、物資搬送に時間を要することが想定されます。

避難者に対して迅速に物資を供給することは重要であることから、災害初期の生活に必要な物資を「市役所、北部防災拠点及び南部防災拠点」の拠点施設と主要避難所となる「小中学校及び市民体育館」の計 10 箇所に分散備蓄します。

また、拠点施設及び主要避難所は、近隣の公民館、コミュニティーセンター等の避難所への物資供給の拠点としての役割を果たします。

さらに、公民館、コミュニティーセンター等の避難所には、初期対応として、主要避難所の備蓄の内から一定量を分散備蓄します。

(拠点施設・主要避難所)

名 称		場 所
拠 点 施 設	市役所	向日市寺戸町中野 20
	北部防災拠点	向日市寺戸町寺田 58
	南部防災拠点	向日市上植野町北小路 41
主 要 避 難 所	市民体育館	向日市森本町小柳 23-1
	向陽小学校	向日市向日町南山 3
	第 2 向陽小学校	向日市物集女町南条 70
	第 3 向陽小学校	向日市森本町下森本 30
	第 4 向陽小学校	向日市寺戸町三ノ坪 20
	第 5 向陽小学校	向日市上植野町五ノ坪 1
	第 6 向陽小学校	向日市寺戸町大牧 24
	勝山中学校	向日市鷄冠井町楓畑 24
	西ノ岡中学校	向日市物集女町吉田 1
	寺戸中学校	向日市寺戸町蔵ノ町 1

5 流通在庫備蓄

本市は、民間企業等とあらかじめ協定を締結し、災害発生時に必要な物資を調達する体制を構築します。

なお、今後も新たな協定の締結を推進し、流通在庫備蓄の充実と供給体制の確保に努めます。

協定件名	協定内容	協定先
災害時における物資の供給協力に関する協定書	応急対策物資の優先供給及び運搬	向日市商工会
災害時における仮設トイレの設置協力に関する協定	仮設トイレの設置協力	(株)京都衛生開発公社
災害時におけるエルピーガス等の供給に関する協定	LPガス等の供給の協力	(社)京都府エルピーガス協会乙訓支部
災害発生時における物資の供給に関する協定書	食糧等、衛生用品、薬、その他生活用品及びその他日用品の供給	(株)平和堂
災害発生時における物資の供給に関する協定書	生活消耗品、育児用品、医薬品、食糧品及びその他生活救援に必要な物資の供給	(株)ユタカファーマシー
災害発生時における物資の供給に関する協定書	食糧品、衣類、寝具類、生活用消耗品、育児用品、医薬品、食器類及びその他生活救援に必要な物資の供給	イオンリテール(株)
災害時における飲料の供給等協力に関する協定書	飲料の供給	コカ・コーラウエスト(株)
災害時における飲料の供給等協力に関する協定書	飲料の供給	樋口鉱泉(株)
災害時における物資の供給に関する協定書	段ボール製品の供給	レンゴー(株)新京都事業所

6 救援物資

本市では、大規模災害に備え近隣自治体と物資等の相互援助を行うための協定を締結し、被害状況に応じた救援物資の受入れに努めます。

協定件名	協定締結日	協定先
災害時における相互援助協定	平成7年 8月 1日	大阪府摂津市
災害時における相互援助協定	平成7年 8月 1日	兵庫県豊岡市
災害時における相互援助協定	平成7年 9月 13日	奈良県桜井市
災害時における相互援助協定	平成7年 9月 18日	滋賀県近江八幡市
災害時における相互援助協定	平成7年 9月 20日	和歌山県有田市
災害時における相互援助協定	平成7年 10月 23日	福井県敦賀市
災害時における相互援助協定	平成8年 1月 10日	岐阜県羽島市

7 家庭内備蓄の推進

本市は、3日分以上を目安とした家庭内備蓄の推進を図るため、防災訓練、出前講座、防災マップ、広報誌等を通じて、継続的な啓発に努めます。

家庭内備蓄は、食料や飲料水を災害用として特別に購入することなく、普段から使用している飲料水やレトルト食品などを定期的に変更し補充する、ローリングストック法を推奨します。

(例示)

食料	<input type="checkbox"/> 飲料水(1日3ℓ/人を目安に) <input type="checkbox"/> 缶詰 <input type="checkbox"/> インスタント食品 <input type="checkbox"/> レトルト食品など
救急・安全対策用品	<input type="checkbox"/> 常備薬 <input type="checkbox"/> 包帯、ガーゼ、絆創膏 <input type="checkbox"/> 傷薬、消毒薬 <input type="checkbox"/> 持病のある方の薬 <input type="checkbox"/> ヘルメット、防災ずきん <input type="checkbox"/> ホイッスル <input type="checkbox"/> 地図(防災マップ)
貴重品	<input type="checkbox"/> 現金(小銭) <input type="checkbox"/> 預貯金通帳、印鑑 <input type="checkbox"/> クレジットカード類 <input type="checkbox"/> 健康保険証 <input type="checkbox"/> 免許証など
衣類など	<input type="checkbox"/> 衣類(厚い物と薄い物) <input type="checkbox"/> 下着類 <input type="checkbox"/> タオル、毛布 <input type="checkbox"/> 手袋、軍手 <input type="checkbox"/> 寝袋 <input type="checkbox"/> 雨具
日用品など	<input type="checkbox"/> ポリ袋(ビニール袋) <input type="checkbox"/> 新聞紙 <input type="checkbox"/> 携帯電話(充電器、バッテリー) <input type="checkbox"/> 筆記用具(油性マジック) <input type="checkbox"/> ろうそく、ライター <input type="checkbox"/> 洗面用具 <input type="checkbox"/> ナイフ、缶切り <input type="checkbox"/> メガネ <input type="checkbox"/> ティッシュペーパー <input type="checkbox"/> マスク <input type="checkbox"/> ウエットティッシュ <input type="checkbox"/> 使い捨てカイロ <input type="checkbox"/> 懐中電灯 <input type="checkbox"/> 紙おむつ <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ <input type="checkbox"/> 衛生用品

※ 各家庭、個人に合わせて準備しましょう。

8 備蓄物資の購入及び活用計画

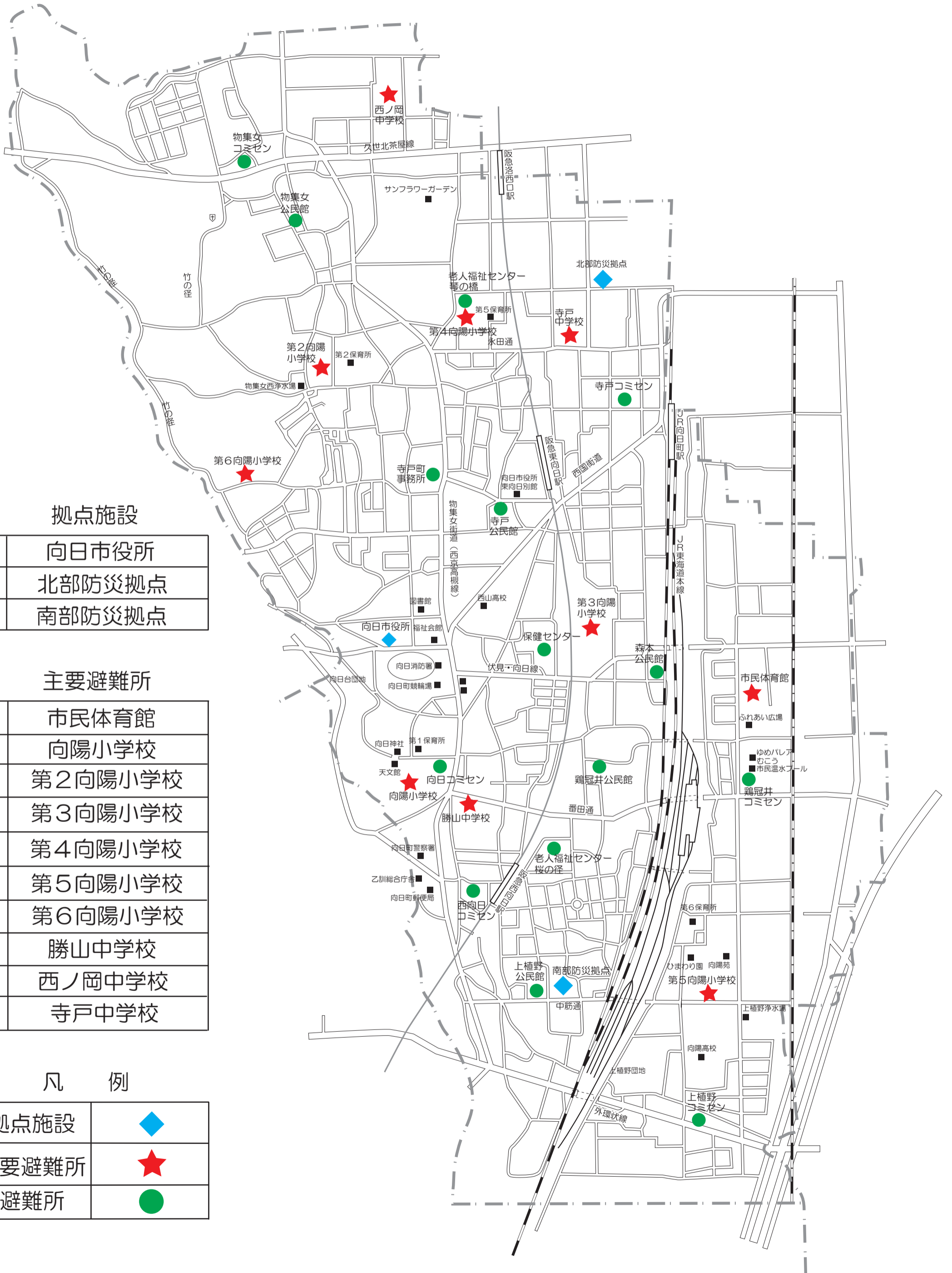
備蓄物資の適切な管理を行うため、定期的に数量等の点検を行います。

また、品目によっては保存期限があることから、期限切れによる大量廃棄を避けるため、保存期限の近いものを防災訓練、向日市まつり、町内会等で実施する防災行事等の機会に提供するとともに、フードバンクへの提供についても、積極的に検討するなど有効活用します。

なお、保存期限のあるものは計画的に購入します。

品目	保存期限	購入計画
白飯(アルファ化米等)	5年	全量の1/5を毎年購入
白粥(アルファ化米等)	5年	全量の1/5を毎年購入
粉ミルク	1.5年	全量を毎年購入
保存水	10年	全量の1/10を毎年購入
保存パン	5年	全量の1/5を毎年購入
ビスケット	5年	全量の1/5を毎年購入
クラッカー	5年	全量の1/5を毎年購入
哺乳瓶	5年	全量の1/5を毎年購入

拠点施設及び主要避難所



拠点施設

①	向日市役所
②	北部防災拠点
③	南部防災拠点

主要避難所

④	市民体育館
⑤	向陽小学校
⑥	第2向陽小学校
⑦	第3向陽小学校
⑧	第4向陽小学校
⑨	第5向陽小学校
⑩	第6向陽小学校
⑪	勝山中学校
⑫	西ノ岡中学校
⑬	寺戸中学校

凡 例

拠点施設	◆
主要避難所	★
避難所	●